

先週からの参観で学級の人数や児童の発達段階に応じた学習指導をしていただいています。今後、系統としたら、【低学年】(ペア対話完成)、【中学年】(グループ対話完成)、【高学年】(全体対話完成)が目安です。45 分のうち子どもが対話(人・問題等)をしている時間は 30 分を基準としましょう。教師の導入・指示・発問・切り返し、まとめ等は 10 分前後を意識しましょう。(教師が話し過ぎる授業からの脱却)

主体的な対話活動をするためのヒント

ペア → グループ → 全体

【ペア学習】「ペアでの伝え合いができればグループや全体でもできる。」(基盤)

□ 3つの**できること**(基本)…必ずしなければならないこと

- 1) 最初と最後があいさつ(＋握手をする)
- 2) 男女関係なく誰とでもペアを組む
- 3) 進んで司会をする

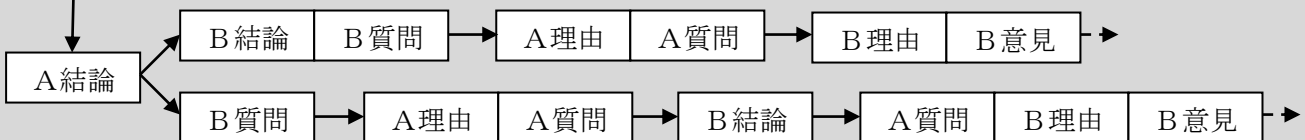
□ 3つの**ポイント**

- 1) 話し上手
 - ① 教科書や学習カード(ノート)などを見せながら話す
 - ② 相手を見ながら話す
 - ③ ゆっくり・はっきり話す
- 2) 聞き上手
 - ① 自分の考えと比べながら聞く
 - ② 積極的に質問する(分からないこと、聞きたいこと)
 - ③ あいづち・うなずきをしながら聞く
- 3) 感想(良かったこと)や意見(アドバイス)を入れて話す。(プラス1)



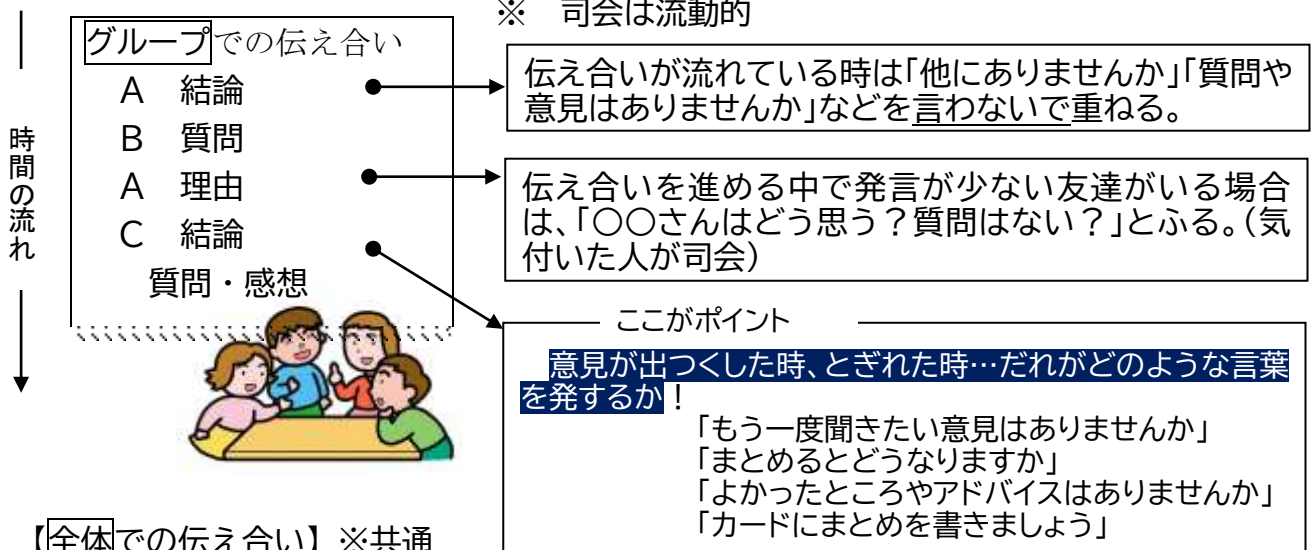
B テーマについて〇〇さんはどう思いますか。

ペアでの伝え合いの例示：イメージ付け



【グループでの伝え合い】…ペアでやったことを3～4人で行う ※3・4年

※ 司会は流動的



【全体での伝え合い】※共通

- 最初は全員手を上げる
- 発表している人の方を向く □拍手はしない
- 自分・グループ・学級全体の視点で感想を持つ(※5・6年)